



調査の結果、各家庭単位での備蓄や避難への準備などに比べ、自宅等の耐震化や災害復旧期の対策については数値がやや低い傾向となっています。

【自主防災組織の結成、地域活動へのご理解・ご協力をお願いします】

大規模な災害が発生したとき、さまざまな悪条件が重なることにより、町や消防機関等の活動能力が低下することが考えられます。このような中、住民への情報伝達や安否確認などを迅速に行い、被害を最小限に抑えるためには、町民皆様の協力が不可欠です。各地域で自主防災組織の設立、地域単位での防災対策について引き続きご協力をお願いします。

【避難情報に対するガイドラインが改正されています！】

令和3年5月より、避難勧告が廃止され避難指示に一本化されています。また、避難所へ行くことだけが避難ではありません。安全な知人宅への移動、浸水想定や耐震性などの安全を確認し自宅を過ごすことも避難です。ぜひ家族で災害ごとの避難行動を話し合ってみてください。

【自宅の耐震化について考えてみませんか？】

平成7年に起きた阪神・淡路大震災による被害者の大半は建築物の倒壊によるものでした。自宅が倒壊しないことは、自分と家族が被害に遭わない第一歩です。安平町では来年度も既存住宅の耐震診断、設計、改修工事への補助を行う予定ですので、考えてみてはいかがでしょうか（今年度の募集は終了しております）。

【安平町ハザードマップを改訂中です】

ハザードマップは、地震、大雨、土砂災害といった災害が起こったときに、どこにどのような危険があるか、また災害が起こった場合はどこに避難したら良いかという情報をまとめた冊子です。町では今年度改訂作業を進めており、4月以降に町民の皆様にお届けする予定です。お手元に届いた際には、自宅に起こりうるハザードや避難すべき場所を災害ごとに確認するなど、ご活用いただきますようお願いいたします。